

feature vol.11

中村憲尚

profile

バドミントンを通して、
多くの真理を見ることができた。



――：中村さんの場合、選手とマネージャーを兼任していたということですが、いろいろご苦労があったのではないのでしょうか？

中村：まず、「優勝」という先輩たちの熱い思いを、現役最後の年に成遂げることができて本当に嬉しかったです。昨年からマネージャーを兼任していましたが、とにかくフロントと選手のパイプ役に徹して、試合に集中できる環境を整えることに力を注ぎました。個人戦ではほとんどが決勝に進んだ経験を持つ選手ばかりなのに団体では結果がでない。ナショナルチームの遠征が絡み、スケジュール調整が難しいという悩みもあったのですが、ここ最近、みんなで食事をしたり、話し合ったり、コミュニケーションを密に図ることで心が一つになり、日本リーグでようやく結果が出せたという感じですね。

――：いま、昨年暮れの日本リーグの話が出ましたが、中村さんにとってやはり優勝を決めた試合がベストゲームですか？

中村：団体戦ではそうですね。自分がマネージャーとしてチームに関わって結果が出せたので、やはり喜びもひとしおでした。

――：個人戦ではどんな試合が印象に残っていますか？

中村：2003年辺りを僕は「暗黒期」と呼んでいるのですが、選手として大きなスランプに陥っていた時、広島ガスの下野鈴住さんと組んだ社会人大会のミックスダブルスで準優勝という成績を残すことができました。呼吸も合ったし、短時間の中で調整もうまくいき、「相手とのバランスをとり、頭を使って勝つ」という持論も完璧に展開できたので、非常に達成感がありましたね。この試合が暗黒期を脱出するきっかけとなったといっても過言ではないでしょう。それから、2005年のフイカト国際で福井選手と組んで出場したダブルスが3位に入賞したこと。高校時代、全英オープンに出たことがあるのですが、当時の世界ランク2位の選手にこてんぱんにやられた経験があり、いつかは国際試合で入賞して見返してやりたいと思っていたのでスカッとしましたね。

――：自ら「暗黒期」と呼んでいる2003年は、やはり苦しい試合が多かったのでしょうか？ミックスダブルスで結果を出してはいますが…。

中村：ミックスダブルスで準優勝するまでは、すべての試合が最悪でしたね。実はお世話になったコーチと無二の親友を立て続けに亡くしたのですが、やはりそれが精神的に大きなショックでした。僕は大学の時から、何か不幸がつきまわっている、とよく言われていたのですが、考えてみれば、日本ユニシスへの入部も茨の道でした。というのも、大学4年の時に右手が血行障害を起こしてしまい、入院を余儀なくされたのですが、このまま放っておけば切断の可能性も出てくると医者に言われました。これは一か八かの賭けでしたが、僕はメスを入れずに、薬での治療を選択し、奇跡的に復調することができた。一時は日本ユニシスへの入部も断念しかけていましたが、当時の阿部監督が「もう少し待っていてやるよ」と言ってくれたのも、大きな励みになりましたね。

――：入院中に宗教学の本をたくさん読まれたということですが、何か気持ちの中で変化はありましたか？

中村：以前は、自分のために戦うんだ！みたいな傲慢さがあったのですが、入院してからは、宗教学というものに触れ、何か信じるものがあれば、それを支えにがんばればいい、という考え方に変わってきました。コーチのため、友人のため、そして家族のために…。母の子に対する無償の愛、というキリストの言葉に深く感銘を受け、以来、十字架の



ダブルスで活躍



ネックレスを身に着けるようになりました。

――：様々な苦勞を乗り越えてきた中村さんから、チームメイト、そして新たに日本ユニシスの一員となったニューフェイスたちにひと言ありましたら。

中村：厳しさの中に、リラックスした雰囲気の流れている...要はバランスが大事だと思う。日本ユニシスは体育会系特有の縦社会はほとんどなく、ピリピリとした過度な緊張感もないので、みんな伸び伸びと自分の個性を發揮しながら練習に打ち込んでほしい。また、新しいことに挑戦し続けるバイオニア精神あふれるチームなので、どんどん上を目指してほしいです。今年は選手・中村は引退しますが、マネージャーとして昨年以上にチームをサポートしていく意気込みなので、再び優勝めざしてがんばりましょう！

――：それでは最後に、中村さんにとって、ずばりバドミントンとは？

中村：いろんなことを経験していくための一つの大きな舞台。バドミントンを通して、多くの真理を見ることができればと僕は思っています。

――：ありがとうございました。そして長い間、お疲れ様でした。

思い出のアイテムその1：十字架のネックレス

右腕の血行障害で入院中、宗教学の本を読み漁り、「母の子に対する無償の愛」というキリストの言葉に触れ、考えが変わったという。以来、十字架のネックレスを肌身離さず着けている



思い出のアイテムその2：家族の写真

中村が押しの一手で射止めた美人の奥様...と、思いきや、アプローチしてきたのは奥様の方だった！？（その頃、中村は女性恐怖症だった）。写真はその奥様と愛息子の竜也君。何よりのお守りだ。



チームメイトからの言葉

福井：お疲れ様～。あのアグレッシブなプレーを見られなくなるのはちょっと寂しいけど、今後の活躍を期待しているぞ！

元ダブルスのパートナーからキャプテンとマネージャー という立場になるけど、力を合わせて選手にとっての良い環境を作っていこうぜ～。

坂本：6年間お疲れ様でした。憲さんには大学時代から長年にわたりお世話になりました。「忍耐」という言葉がびつたりな憲さん。私自身も憲さんを見習い忍耐強くなっていきたいです。今までありがとうございました。これからも宜しくお願いします。

仲尾：のりさんには大学からお世話になっていろいろと面倒を見てもらいました。夏になるとコート上に雨のように飛び散らすのり汁（汗です）が今年から見られなくなると少し寂しい気持ちになります。でも、今年からマネージャーとしてチームに携わっていくのでやっぱり寂しくないかも！？ということで、マネージメントのことで今後もお世話になりますのでよろしくお祈いします。

中西：憲さんの気迫あるプレーが見られなくなると少し残念です。高校生の頃から長い間、その背中を見てきました。最初の一年のインターハイと、最後の一年の日本リーグで優勝したのが、とれも良い思い出です。これからも気迫あるプレーを受け継いでいきます。お疲れ様でした。

池田：長い間お疲れ様です。会社では汗をかいたらだめですよ。汗をかきたいときは練習にきてくださいね！

早坂：現役生活お疲れ様でした。両方の兼ね合いは大変だったと思います。のりさんがいなくなったらチームが成り立たなかったでしょう。今後はマネージャー業に専念されるということで、たくさんの迷惑をおかけすると思いますが、これからもよろしくお祈いします。

廣部：お疲れ様でした。常に自分に厳しくひたむきな姿が印象的で、見習うところが多かったように思います。また、チームを支えていて僕ら新人がいいかげんなところも助けていただいてありがとうございました。これからも迷惑をかけるかもしれませんが、よろしくお祈いします。

小宮山*：中村さん、現役生活お疲れ様でした。中村さんには練習の時や、会社に行った時、わからないことや色々な事を教えて頂いたりして本当に様々な事でお世話になりました。これからもわからないことや困った時には中村さんに色々お世話になるかと思いますが、その時はよろしく御祈いします。

岩脇*：現役生活おつかれ様でした。ニュージーランドの遠征や合宿などでお世話になりました。社会人一年目から活躍できるように頑張りますので応援よろしくお祈いします。

齊藤*：いつも気合い満点。ユニシスの練習に行くとき中村さんの叫び声が聞こえなかったことはないです。これからも気

(2006年2月22日掲載)

- [山田英孝インタビュー>](#)
- [石川澄インタビュー>](#)

[feature backnumber](#)

< [feature vol.11](#)

- [チームについて](#)
- [選手・スタッフ紹介](#)
- [試合結果](#)
- [ニュース](#)
- [ルール解説](#)
- [LINK](#)
- [お問い合わせ](#)

企業情報

BIPROGYについて

[トップメッセージ](#)

[会社概要](#)

[Vision2030・経営方針（2021～2023）](#)

[コーポレートブランド](#)

[グループ会社](#)

[拠点所在地](#)

[組織図](#)

[役員一覧](#)

[企業理念](#)

[企業行動憲章](#)

[調達・購買に関する指針等について](#)

[BIPROGYグループの歴史](#)

[ニュースリリース](#)

[株主・投資家情報](#)

[採用情報](#)

BIPROGYの企業活動

[サステナビリティ](#)

[広告宣伝活動](#)

[セミナー/イベント](#)

[出版物](#)

[デジタルメディア BIPROGY TERASU](#)

[実業団バドミントン部](#)

[BIPROGYグループアンバサダー](#)

[東京ディズニーランド「エレクトリカルパレード・ドリームライツ」](#)

[東京ディズニーシー「フォートレス・エクスプロレーション」](#)

BIPROGYの研究活動

[BIPROGY総合技術研究所](#)

[Technology Foresight](#)

[技術論文BIPROGY技報](#)

[BIPROGY研究会](#)

- [ご利用にあたって >](#)
- [個人情報保護について >](#)
- [情報セキュリティ基本方針 >](#)
- [ソーシャルメディアポリシー >](#)
- [サイトマップ >](#)

